第16号　平成4年9月1日発行

福祉つるみ

題字　石田菊雄氏

編集・発行　鶴見区社会福祉協議会
鶴見区福祉の風土づくり推進委員会
鶴見区役所　福祉課内
TEL 503－1212　内線304
印　刷　朝日オフセット印刷株式会社

本紙は年2回自治会・町内会のご協力で全世帯に配布しています。

生きがい・健康・仲間づくりを！
❖開かれた老人クラブをめざして❖

平均寿命、女82歳、男76歳、世界一の長寿国の中で、鶴見区の65歳以上の高齢者は、現在約11％で、老齢人口は着実に増加しています。

区内に老人クラブは、115クラブ、九、九九三人加入して、仲間づくりをしながら色々な活動をしています。当区の老人クラブは来年で結成30周年を迎えます。そこで、より活発で魅力あるクラブづくりをめざして、7月31日、会長研修会を開きました。

講師は、全国老人クラブ連合会・山本信孝事務局長で、全国各地の活発なクラブの具体例を紹介しながら、熱っぽく次のように語っていただきました。



▼開かれた老人クラブ

六十歳から九十歳代まで、親子ほども年齢差がある会員が、互いに話し合い協力し合う（内に開かれる）、会員だけでなく、地域の諸団体や他のクラブの人々と積極的に交流して（外に開かれる）、自分たちの経験や知識を小中学生など次の世代に伝え（二十一世紀に開かれる）、自由で明るいクラブ活動をしましょう。

▼仲間づくりを

テレビと終日向かい合っている方が大勢います。町内会と協力してクラブの存在を積極的にアピール（呼びかけ）し、三人でも四人でもやりたいことをサークル（小集団）活動として楽しむようにしたい。

▼魅力ある活動を

みんなの興味や関心をよく話し合い、互いの特技や力を出し合って、サークルや行事を楽しく進めましょう。会員以外の高齢者や地域の人達も自由に参加できるようにしましょう。

長岡市のクラブは、九種類のサークル活動をし、会員も増加しています。また、出雲市では、老人クラブを慶人（けいじん）会と改称し、六十五歳の若い会員を新たに迎え、活発な活動を展開しています。

▼自主的な運営を

クラブは、特性をいかした「地域性」、経験、力、知恵を出し合い助け合う「共同性」、そして自分たちの判断と考えによって行動する「自主性」、この三つを基本にしています。活発なクラブにするためには年功や経歴にこだわらず、女性や、六十歳代など比較的若い世代も企画・運営に参加できるようにしたい、また、活動場所や財源づくりも町内会などの協力を得て創意工夫したいものです。

今こそ、長年の知恵や経験など「年輪パワー」を発揮するときであり、生きがい、健康、仲間づくりの場として、老人クラブを二十一世紀へ向けて発展させていきたいと思います。

――講演のあと、数人の方から質問などがあり、意見交換が続きました。今後、区内の各老人クラブで話し合いが盛んとなり、より活発な活動がなされることを期待します。

高齢者の方はこぞって老人クラブにご参加ください。また老人クラブに対するご理解をお寄せください。

どうもありがとうございました。

この取材を通じて老人クラブは、「教養の向上」「健康増進」「生きがいの発見」などいろいろな面でとても魅力的なものだと感じました。

老人クラブに未加入の方がいらしゃいましたら、老人クラブでより充実した生活を送られるのはいかがでしょうか。

老人クラブについてのお問い合わせは各老人クラブまたは、区役所福祉課地域福祉係（内線二〇三）まで

活動資金を自らの力で！

今回は、老人クラブの活動資金を自らの力で生み出し、ユニークで活発な活動をしている潮田東部地区の朝日町長栄会（飯ヶ谷修蔵会長）を紹介します。

自主財源確保について具体的にどんな活動をしていますか？

生きがい作業の児童公園の清掃、廃品回収などをしています。

いつ頃から始めたのですか？

もう十年以上前からやっています。しかし、今は廃品の売却単価が下がってしまい、以前ほどの収入はありませんが、やめてしまっては、自主財源は生みだせません。単価が下がったからと言って弱気になるのではなく、『より多くの廃品を集めよう』といった意欲を持って頑張っています。

自主財源の活用方法について教えてください。

集まったお金は、ゲートボールの資材・公園清掃のための草刈機を購入したり、長栄会独自の喪服の追加購入・写真集・会員の表札などを作ったりしています。また、町内会館改築時も寄付をさせていただきました。

長栄会の行事や、活動についてお聞かせください。

ゲートボールが盛んで、日東浜公園でほとんど毎日行っています。カラオケ大会などもやりたいと思っています。また今年は、講師をお招きして、講演会を開催したいと現在計画中です。



スポーツ紹介

早朝の心地よい汗…
ターゲット・バードゴルフ

新しいスポーツが次々誕生していますが、老人クラブの間でも、町内会との交遊を活かしながら幅広い年齢層の人々とスポーツを享受しています。

汐入町二丁目老人クラブの行っているターゲット・バードゴルフもその一つ。ゴルフの要領ながら、ボールはバドミントンのシャトル型（羽根状）、ホールは写真のようにネットとなっていてホールインをめざします。

取材日は八人がプレーに熱中、クラブの人だけでなく、勤めをもつ人、女性もいて開放的に取り組んでいます。初参加の女性も、「羽根状のボールをホールに打ち上げるのにコツがいるみたいだけれど、なかなか面白い。」と爽快な汗を流しつつ、スイングに熱中していました。

しっかりした競技規則はありますが、人数や競技場の事情などに柔軟に対応でき、今後楽しむ層も拡大しそうです。



障害者福祉の世界会議
「インディペンデンス'92」に参加して

鶴見区代表団　団長　石田　菊雄

国際障害者年十年の最終年にあたる今年四月、車椅子の英雄リック・ハンセン氏の提唱により、障害者の自立と平等、完全参加をめざす世界会議「インディペンデンス'92」がカナダのバンクーバーで開かれました。世界百ケ国から障害者をはじめ福祉活動実践者、政策担当者など三千人余りが参加。障害者が直面している問題や将来への課題について話し合いました。障害者問題を自らの問題として解決しようという熱気が会場に溢れていました。

平成二年秋、横浜を訪れたリック・ハンセン氏が鶴見で講演し、区内の福祉関係者と歓談しました。その別れ際「将来、障害者のための世界会議を開きたい」と私の手を強く握りました。「その時はぜひ参加したい」と、わが身も顧みず約束をした経緯もあり、区長さん初め区の関係者の理解と協力を得て、急遽代表団（石田菊雄・五神嘉子・竹田冨美・簡　照子・斎藤美枝・吉山秀之助・清水清）を組織し、七名でカナダへと向かいました。

会議では「自分は障害をもっているが、私も一人の人間です。同情を受けて暮らすのではなく、障害者自身が自分の問題として立ちあがり、流れを変えて行く必要があります」「不幸にして障害をもった子供が生まれても、喜べるような社会を実現したい！」「もう隔離施設で暮らすのは結構。皆と一緒に暮らしたい」「発展途上国において障害をもった子供は学校にも行けない」など障害者自身が抱える問題が赤裸々に報告されました。

リック・ハンセン氏などの呼び掛けにより、カナダでは障害者の社会参加や自立生活を支援するセンターが設立され、バンクーバー市では障害者を含む専門委員会で福祉政策や制度面での配慮がなされています。障害者の自立のため使命感に燃え、その顔貌に一層輝きを増したリック・ハンセン氏は「いろいろ困難はありますが、まず理解することから始まります。その一歩が鶴見での講演会でした。」と語っていました。彼の大きな夢の実現に、我々鶴見区民も一役買えた事を誇りとし、今回の会議で学んだ事をこれからの福祉活動に生かして行きたいものです。



「インディペンデンス」とは「自立」の意。

法人化で区社協が変わります！

―任意団体から社会福祉法人へ―

これまでも、社協は住民福祉の向上のため様々な活動をすすめてきましたが、高齢化社会の到来や障害者福祉など地域の様々な福祉ニーズ（需要）に対応し、新しい福祉社会をつくるためには、支えるために法人化をして組織の充実・強化をすることが必要となってきました。

□　全国的に社会福祉協議会の法人化が進められている中で、横浜市でも平成二年の社会福祉事業法の改正で指定都市の区社協が法的に認められ、鶴見区社協も平成五年四月の法人格取得に向けて現在取組んでいます。

□　区社協が現在の任意団体から社会福祉法人としてますと、社会的に責任を持つ団体として認められ、行政との連携によって、区民によりきめ細かい身近な福祉活動が行われます。

□　住民の自主的な福祉活動ができます。

地域住民団体が会員として加入し、住民参加による**福祉のまちづくり**が進められます。そして、理事会・評議員会が責任ある組織として定款に基づいて運営されることになります。



□　社会福祉協議会は、ふつう「社協」と呼ばれています。

新しい社協（社会福祉法人）になると、次のようなメリット（利点）もあります。

(1)老人福祉センター、在宅支援サービスセンター、地区センターなど福祉に関係のある事業を民間団体として受託・運営が可能となり在宅福祉サービスの充実ができます。

(2)区社協に寄付された方は、所得税の控除など税法上の特例措置が受けられます。

(3)寄付が増額すると、自主財源の確保がしやすくなり、地域福祉サービスなどの事業を活発に行えるようになります。

(4)区社協の財産などは、所得税の免税措置がうけられる税制上の特典があります。

善意銀行
ご寄付をありがとうございました

平成四年一月十五日～七月二十四日
（　）内は寄付回数です

金銭をお寄せいただいた方々

松井昌夫・田倉ハナ・川尻久夫・今野壽恵子・佐藤トシ子・石川トキエ(7)・小橋一仁・鶴見懇和会・三須洋子(6)・渋谷マス(3)・横浜市水道労働組合給水北支部鶴見班・小野梅子(2)・長谷川準太郎・山本貞子・梅田久(6)・汐入体操会(4)・中川きよの・梅澤道雄・戸井田啓治(3)・斉藤百合子・生麦地区センター(2)・小野芳太郎(2)・竹田冨美・米山マツ・鶴見米穀小売商連合組合・鶴見区民踊愛好会・新あゆみ会・静和会・TURUMIふれあい祭実行委員会・中西ふみ・添田千恵子・NTT横浜西支店・坂本雪太郎・㈱イケダ自動車・生方和子・住友銀行鶴見支店・東窯会・京成企業・五神嘉子・県警公舎自治会・市場小学校平成三年度六年一組一同・寺尾地区センター・小池真生・TEPCOスクール友の会・鶴見新世界劇場・鶴見区メーデー実行委員会・鶴見区民フェスティバル実行委員会(2)・橋本染太郎・新日本自動車学校校友会・五十嵐次郎・徳友会・佐藤　司・清水　清・小林義男・㈱キリンビール横浜工場・日本信託銀行・北寿会・鶴見スポーツセンター社交ダンス教室・民友会・上末吉地区社協やよい会・鶴見民謡同好会・生麦北町中部婦人部・神奈川県鶴見警察署長・旭硝子労働組合

物品をお寄せいただいた方々

藤巻イチ(2)・手話サークルあいうえお(2)・細川節子・北悌子・尻手一・二丁目子供育成会・松元貞子(4)・熊澤廣美・狩野・橋脇和彦・中川茅乃・今村久子・福澤隆夫・田島克己・安藤恭行・種村マス子・大久保忠男・曽根玲子・川島カツ子・坂下恵子(2)・㈱デザート(2)・伊藤美和子・高本稲子・菊池長治・藤本・山口定子・大井光子・鶴見ライオネスクラブ(2)・金泉しのぶ・牟田由子・佐竹波満子

（敬称略・順不同）

福祉基金にみなさんの善意を

今後、社会福祉協議会の役割は一層重要になり、法人化に伴って独自財源も必要となります。おもいやりのあふれるまち鶴見の福祉をより豊かに拡げるために、あなたの善意を福祉基金にお寄せください。

編集後記

九月は、敬老月間です。二十一世紀に向かって世界一の長寿国になると言われ、超高齢化が進む中で、元気で健康な方々には、一人暮らしや介護を望む同年代の仲間たちへ互助精神を積極的に発揮して頂きたい。高齢化は、在宅支援サービスセンターの開設やボランティアの動向に見られるとおり、重要な課題です。

また、障害者の自立と共に、障害者がごく普通に街で活動している様子をインディペンデンス'92に参加した鶴見区代表団の方に伺いました。障害者の一層の社会参加をはじめ、鶴見の福祉の充実を切に望むものです。

……

読後のご感想など、投稿をお待ちしております。

（相原儀文）